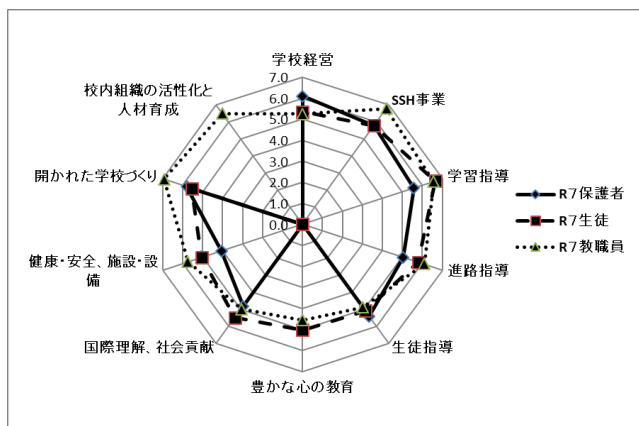


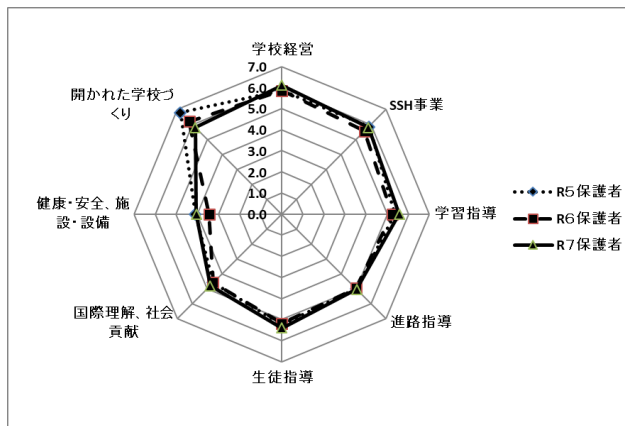
【令和7年度学校評価アンケート総括】

回答数	教職員	45	(昨年度	50、一昨年度	53)
	保護者	589	(昨年度	491、一昨年度	895)
	生徒	727	(昨年度	775、一昨年度	760)

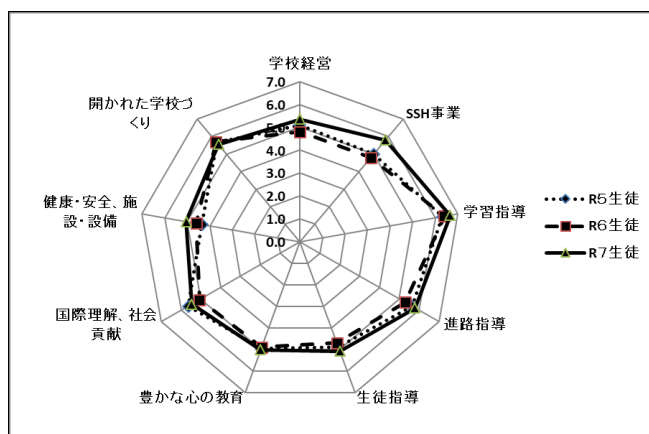
令和7年度学校評価



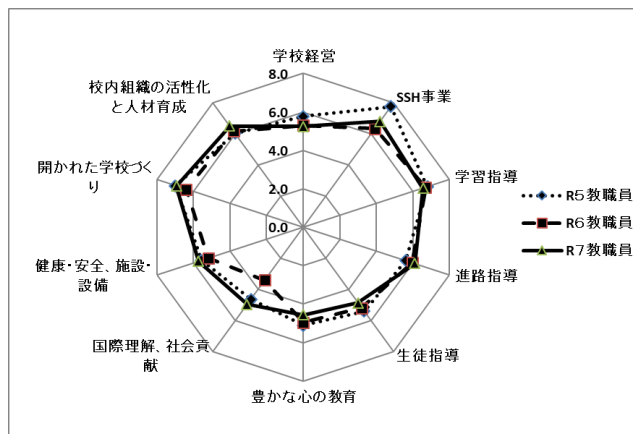
令和7年度学校評価[保護者]



令和7年度学校評価[生徒]



令和7年度学校評価[教職員]



【学校評価アンケート総括】

(概況) 昨年度と比較すると評価指数は増加したものが多く見られるが、これまでの取組が一定の成果をあげていることがうかがえる。一方で、教職員の回答数が年々減少しており、教職員の学校課題への意識の向上が必要である。全体的には、国際交流や银杏祭の一般公開、ごみの分別など、新たな交流や取り組みがなされた年度であったため、評価が向上したと考えられる。

※評価指数とは下の4段階を数値化し平均の値を求めたものである。

1. よくあてはまる 10
2. ややあてはまる 5
3. あまりあてはまらない 5
4. 全くあてはまらない 10

(各項目) 主に昨年度までの結果との比較と、単年度の評価をまとめています。

1. 「学校経営」に関しては、全体的には昨年度と大きな変化は見られないが、教職員の評価のポイントがやや減少している。学校経営の方針や運営についての理解を深めるため、組織内の情報共有を強化することが必要である。
2. 「SSH事業」の評価ポイントは増加している。特に生徒のポイントが大きく増加しており、海外交流や課題探究の取り組みなど、SSH事業が生徒のためになっていると考えられる。
3. 「学習指導」に関しては、共通項目 No. 10 の「ICT 機器を利用した授業」、S8「授業では、講義だけでなく話し合ったり発表したりする機会がある」の項目が引き続き高い評価を得ている。学校全体で取り組んでいる探究型授業が浸透している結果と考えられる。一方で、共通項目 No. 12 の「指導方法や評価の方法等について」の評価ポイントは減少しており、教職員のニーズに応じた研修が必要であると考えられる。
4. 「進路指導」に関しては、昨年度と比べ大きな変化は見られない。

5. 「生徒指導」に関しては、共通項目 No. 16, 17 の「学校行事の充実」「クラスにおける活動」の評価ポイントが増加している。銀杏祭の一般公開、でかけな祭など行事の拡大が影響していると考えられる。一方、共通項目 No. 18, 19 の「生徒会活動や委員会活動」「部活動」についての項目は減少しており、活動の活性化が必要である。
6. 「豊かな心の教育」に関しては、大きな変化は見られないが、教職員の回答では評価ポイントが下がっており、LHR 等での活動を通して、心の教育を深める必要がある。
7. 「国際理解・社会貢献」に関しては、共通項目 No. 26「ゴミの分別や減量」No. 27「清掃について」の項目が大幅に増加している。月水金は教職員指導の下で清掃、火木は生徒のみでの清掃と自主的に行動する意識の向上が影響していると考えられる。また、プラスチックごみの分別意識向上も影響していると考えられる。
8. 「健康・安全、施設・設備」に関して、大きな変化は見られないが、共通項目 No. 30 に関して、教職員の評価ポイントが増加している。トイレの改修など、生徒の学校生活に関わる箇所の修繕が評価ポイント増加の要因と思われる。
9. 「開かれた学校づくり」に関しては、大きな変化は見られない。
10. 「校内組織の活性化と人材育成」に関しては、T36「公文書の授発・保管や、金銭・物品の管理」の項目が増加している。教員同士の協働体制がより強化されており、今後もこの流れを維持することが重要である。

本年度の結果をふまえ、評価の高い取組を継続・強化しつつ、課題点については具体的な改善策を講じることで、より良い学校環境の充実を目指したい。